



ひまわりファイル

本会議で質問しました

1. がん教育の外部講師の活用について

質 学校でのがん教育に外部講師を活用するために、「外部講師へのサポート」「講師のリスト化」「学校からの講師派遣要請に応える窓口」が必要であるがどのように取り組んでいくのか。

答 学校現場でがん教育を担うにふさわしい外部講師を育成するとともに、育成した講師を希望のあった学校へ派遣する外部講師人材バンクの設置に向けて、教育委員会とも連携しながら、有識者による検討会においてご意見を伺い検討を進めて参りたい。



2. 生活保護業務の体制強化について

質 新型コロナの感染拡大により、生活が不安定な状況に陥っている方が多くなっており、今後生活に困窮して相談に至る方が増えてくることが予想される。生活保護のケースワーカーを充実していくべきではないか。又、心の健康に課題を抱えた方も増えている現状もあり、心理面で業務を支援する専門的な仕組みが必要ではないか。

答 今後、生活保護の窓口が、様々な課題を抱えている方が安心して相談できる、最後のセーフティネットとしての機能を十分に果たせるよう、他都市の事例や効果を検証するなかで、臨床心理士等の活用も含めて、生活保護の相談体制の強化に向けて、鋭意検討を進めてまいりたい。



ピロリ菌検査の開始について

ピロリ菌は胃に持続的に感染することで、慢性胃炎、胃潰瘍、そして胃がんを引き起こすことがあり、早めの除菌治療によりリスクを低減することができるとされています。また、ピロリ菌に感染しやすい時期は乳幼児期までであり、家族から子供への家族内感染が主な感染ルートといわれています。

そこで、若い世代の方に、ピロリ菌感染の有無から将来の胃がん発生のリスクを知っていただき、適切な治療を受ける等の健康保持につながることを目的として、次のとおりピロリ菌検査を開始します。

開始日：令和3年10月1日

対象者：市内在住の20歳以上39歳以下の方（年度末時点の年齢）

※ただし、以下のいずれかに当てはまる方は対象外となります

- (1) ピロリ菌の除菌治療を受けたことがある方
- (2) 胃の手術を受けたことがある方

回数： 1人1回まで

検査内容：採血によるピロリ菌抗体検査

検査料金：自己負担金 無料

実施場所：市内の協力医療機関

※市公式ウェブサイトに記載